

第7回碩田中学校区新設校開校準備委員会 会議要旨

日時：平成28年11月15日（火）

19:00～20:30

場所：大分市教育センター・研修室202

○出席者 18名 欠席者2名

1. 開会のことば

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(1) 経過報告

- ・第7回開校準備委員会までの経過を報告する。

(2) 各専門部会からの報告・協議

【学校部会】

- ・資料集2～3ページをもとに、校章、校歌、制服について部会長の安東委員が説明する。

● 説明内容の概要

- ・校章については、児童生徒から応募した案をデザイン化し、最終的な案が完成した。
- ・校歌については、大分県立芸術文化短期大学の中山欽吾学長が碩田中出身であることから推薦を依頼し、音楽科の河野敦朗教授を推薦していただき現在制作中。
- ・制服についてはアンケートの結果、中後期は制服を導入することに決定。前期については、賛成49%反対51%ということで導入を見送る。

<主な意見>

【委員】制服のアンケートについて、学年で結果に何か特徴があったりするのかな。

【委員】中学校については以前から制服であったこともあり賛成が多数。小学校については、高学年は賛成の割合が高かったが、1～4年生は反対の方が多いという結果になった。

【委員】前期の制服は導入しないとのことだが、もし希望する場合は着用が認められるのかな。

【委員】着てはいけないというわけではないが、そもそも生産するのかなという問題や希望者のみの受注生産となると価格にも変更があるかもしれない。そういうことを踏まえたうえでメーカーに聞いてみても良いかもしれない。

【委員】制服の分割購入は可能なのかな。

【委員】分割については販売店側の問題になる。販売店を拘束してしまうことにもなりかねないので、話をするのは難しい。

★ 確認事項

- ・制服については前期の導入は見送る。販売価格等については提案どおりとする。
- ・校章については提案された案を教育委員会に報告する。
- ・校歌については現在の取組を承認し、次回1月24日の第8回開校準備委員会での報告を待つ。

【学校支援部会】

- ・資料集4～5ページをもとに、学校を支援する体制、PTA組織、地域連携室、児童育成クラブのそれぞれについて部会長の佐藤委員が説明する。

● 説明内容の概要

- ・学校を支援する体制について…3校区が集まって組織的に協議する場の設定については今後も検討を続ける。
- ・PTA組織について…現在4校合同のPTA合同検討会が準備を進めている。12月3日に4校PTA合同の臨時PTA総会を行う。
- ・地域連携室について…部屋の管理や使用の条件などについて今後検討していく。
- ・児童育成クラブについて…担当課の子育て支援課より、対象児童や開設内容などについて3校区の児童育成クラブの代表者による合同検討会の報告を受けた。
- ・児童育成クラブの開所日は平成29年4月1日で調整する。

<主な意見>

- 【委員】学校と地域を結び付けるような組織が必要だと思うのだが、その辺の組織作りというところはまだ方向性が見えていないということか。
- 【委員】どういう方々に集ってもらい組織を作っていくかということについてこれから検討していきたい。
- 【委員】育成クラブは4月1日開所ということだが、引越しや備品の整理といったスケジュールは怎么样了のか。
- 【委員】工事は2月末で終了予定のため、引越し等備品の搬入をする時間は確保できている。またスケジュールについては調整していきたい。

★ 確認事項

- ・学校を支援する体制については、碩田中学校の学校運営協議会を足がかりにし、そこを発展させていくといった視点も含め、地域と学校をつなぐ組織作りが出来るように今後も引き続き協議をする場の設定やあり方について検討していく。
- ・PTA組織、地域連携室、児童育成クラブについても、今後も協議を続ける。

【施設部会】

- ・資料集6ページ、別紙資料を基に、工事の進捗状況、サイン計画（案）、3小学校の児童を対象とした現場見学会、給食配膳のそれぞれについて部会長の兼子委員が説明する。

● 説明内容の概要

- ・工事は順調に進んでいる。現在は校舎棟1階から順に内装工事を進めている。
- ・ひとつの校舎で9年間という時間を過ごすことになるので、色の違いを感じることで自分の成長にも気付くことが出来るよう各階のフロアカラーを設定した。
- ・3小学校の4～6年生を対象にした現場見学会を11月24、25日に開催する。
- ・給食配膳については2～6階までそれぞれの階に配膳室を設け、そこからどのような手順で各教室の準備をするかについて事務局から提案があり、委員会の了承を得た。

<主な意見>

- 【委員】小学生対象の見学会に参加することは可能か。
- 【委員】他の委員の方々からも同様の希望があったことから提案してみたところ、4～6年生の対応で限界との回答をいただいた。

- 【委員】 それではこの委員で中を見たいとなった場合、内覧会での対応ということになるのか。
- 【委員】 12月21日に教育委員の視察があるため、その際に案内が可能。改めて案内を差し上げるので確認いただきたい。
- 【委員】 学校部会で話しているが、今の中学3年生が新校舎の恩恵を受けられないということで、3月3日の卒業式は住吉小学校の体育館ではなく新校舎のアリーナを使う方向で話を進めている。
- 【委員】 生徒にこの話をしたらとても喜んでいて。通常であれば検査を受けた後に使用可能となることを、卒業式を新校舎のアリーナで行えるよう、事前申請の手続き等さまざまな対応をとっていただいたことに対し感謝したい。

★ 確認事項

- ・サイン計画、給食配膳については提案どおり承認する。
- ・児童の現場見学会についても提案どおり承認する。開校準備委員会委員には、12月21日に見学する機会を設ける。

(3) その他

- ・事務局から、次回の日程等について説明。

★ 確認事項

- ・第8回の開校準備委員会を1月24日（火）の19時から大分市教育センター研修室302で開催する。
- ・11月に保護者を対象とした説明会を4回開催する。

4. アドバイザーからの助言

- ・アドバイザーである日本文理大学工学部、西村教授から助言をいただく。

【アドバイザーより】

- ・校章デザインについて、制作している人は色々とデザインの意味を知っているし考えていたりするが、後から見ると意味が分からないといったことが良くある。そうならないためにも、チャンスがあれば今のうちにデザインした人に話を聞いておく物語をさらに膨らませることが出来る。
- ・少しずつ設計をして形が出来上がり、現在実際に運営が進んでいくような状況になり多くの課題が見えてきていると思う。ただし開校してみないと分からない部分もあるだろうと思う。そういったことについては課題があると確認して、開校した後に解決するのだという課題設定をしておくといいいのではないかと思う。
- ・公共施設を設計するとサイン計画をするのだが、しばらくして行くとあちこちに矢印などの貼紙がされることがよくあって、これが設計者としては非常に辛い。そうならないためにも、使う側と設計者がコミュニケーションを取り、使う側から要望を出してもらえるとそれに沿った設計が出来る。サインについては紙に印刷したもので良いので、原寸大のものを作って実際に置かれる場に貼って確認をしてほしい。それから、掲示物があふれて学校が混乱するのを防ぐためにも学内の掲示ブースの場所や大きさを確認しておく必要があると思う。ただし子どもの作品があちこちに貼られるのは喜ばしいことだと思うのでどんどん貼ってほしい。

5. 閉会のことば